

GOVERNOR'S MONTHLY COMMUNICATION

TO CLUB PRESIDENTS AND SECRETARIES IN DISTRICT 2790 (CHIBA)

ガバナー月信 | 2016-17年度
国際ロータリー第2790地区(千葉県)



Rotary Serving Humanity

青少年奉仕月間



Chiyoda Koinobori Festival

CONTENTS

ガバナーからのメッセージ.....1	米山梅吉記念館便り.....8
奉仕プロジェクト統括委員会報告.....2	米山記念奨学会ニュース 205号.....8
米山記念奨学会委員会報告.....3	コーディネーターニュース 2017年5月号.....8
RLI開催報告.....4	文庫通信 355号.....8
交流と学びを深めたスプリングキャンプ.....5	寄付者、新ロータリアン.....9
学友会委員会活動報告.....7	出席・会員数報告、物故者、ロータリーレート.....10

2017年 **5** May
月号

COPY FOR MEMBERS
発行 / 2017年5月1日

vol. 11

地区行動指針 「感謝と挑戦」

*Pursuing activities
sharing The Appreciation*



ロータリー米山記念奨学生 修了式・歓送会
3月11日(土) 三井ガーデンホテル千葉

—— 2017-18年度に向けて最後の一步を ——

月日が経つのは早いもので、約1年前の三大セミナーが昨日のこのように思える今日、寺嶋年度に向けた三大セミナー最後の「地区研修・協議会」が4月22日に開催され、クラブの次年度に向けた活動も正式に始まりました。

しかし、本年度は未だ2ヶ月あります。RIの今年度重点課題である会員数51名以上のクラブは2名、50名以下のクラブは1名の純増を含め、クラブが期首に設定した目標は達成出来ましたか?ほとんどのクラブでは、会長を体験するのは人生で一度です。思い残しが無いよう、最後まで最善を尽くしましょう。

年度末もあってか、当地区の3月末会員数は前月比10名減、期首比90名増の2,819名でした。会員が大きく増えたクラブがある反面、約4割のクラブは、会員が増えていない、あるいは減少しています。毎年、11月と5月の会員数は年間最大です。RI目標達成には今からでも遅くありません。尚、日本のロータリアンは、人口1万人あたり7.01人ですが、千葉県は4.5人です(日本で最大は山形県の14.1人)。

毎年6月末に多くの退会者が出ています。今1度、仲間の絆を確かめると共に、出席したくなる例会、及び参加したくなる親睦・奉仕活動を追求し、会員がロータリアンになって良かったと思う活発な活動を展開して下さい。そして、ロータリーソング「手に手つないで」を思い出し、価値観を分かち合う仲間の輪の拡大を通じて一層活気溢れるクラブにしましょう。企業の人事異動に伴う退会者を除く年度末退会者を極小化し、次年度に繋げる努力をお願いします。

私自身にとっての恒例主要行事は上期で終わりました。ガバナー補佐主催による地区ロータリー研修委員会の協力を得た、昨秋の分區別ロータ

リー情報研修会、また、IMも2月に終了し、地区委員会行事を除く地区行事も、基本的に終わりました。

下期に入り、私は、ガバナー会で長年検討されてきた「RIJYEC=国際ロータリー日本青少年交換委員会」を多地区合同奉仕活動とするための地区内クラブ承認取得(当地区を含め、現在、31地区が同意。残り3地区の承認手続待ち)、規定審議会運営手続き改定(2016年規定審議会で、3年に1度の規定審議会は、組織規定に関する制定案及び新たなRI理事会決議に基づく見解案の審議とし、決議案は、新設された毎年開催する決議審議会で電子的communicationにより審議することとなった)をも踏まえ、PDG崎山 征雄規定審議会代表議員を委員長、PDG山田 修平規定審議会補欠議員を副委員長とし、前三代のPDG及びガバナー以降を委員とする地区立法案検討委員会の設立、及び戦略計画委員会での分区再編を含む前年度からの引継ぎ事項等、地区が長期的観点で対応すべき諸課題に取り組んでいます。

尚、今年度新設の地区学友会委員会が、最初の事業として、ローターアクター、ROTEX、元R財団親善奨学生、R米山学友会員等のロータリー青少年育成事業元関係者対象のロータリーファミリー同窓会を4月23日に開催し、今後の活動に向けた名簿作り、横の繋がり強化策等につき話合いました。

また、フェローシップ委員会企画によるロータリー財団100周年を祝う「チャリティーゴルフコンペ」が5月31日に開催されます。多数の皆様の参加をお待ちしています。

ロータリー活動は永遠に続きます。そして、会員は変わりません。皆さんには、次年度に繋がる最後の一步の積極的な活動を期待しています。



奉仕プロジェクト統括委員会報告

奉仕プロジェクト統括委員会

統括委員長 **堀内 正一** (木更津RC)

今年度奉仕プロジェクト統括委員会は、「元気なクラブを目指して一歩踏み出そう奉仕活動へ」をテーマとし、各クラブの活性化に繋がるように8つの委員会がそれぞれ活発な活動をして参りました。

職業奉仕委員会は、職業奉仕月間を中心に卓話依頼に対応させて頂きました。「職業奉仕は難しい、解らない」と言う方がおられるなか、25クラブから要望がありロータリーの目的・行動規範・四つのテストを中心に卓話を致しました。

社会奉仕委員会は、地域社会への奉仕活動を後押しし、クラブを活性化、ロータリーの名を高めて会員増強に資する事を目的に活動してまいりました。奉仕プロジェクト委員会セミナーやロータリー情報研修会を通じて、社会奉仕活動に迷われているクラブ、また事業の見直しを考えているクラブに事例を紹介し、新たな一歩を踏み出すきっかけを提供してまいりました。また、資金面を理由に躊躇されているクラブには、ロータリー財団の地区補助金の活用をお勧め致しました。

国際奉仕活動は直接現地に赴き、現地の状況に効果的なプロジェクトを模索し、それによって恩恵が及ぶのは、参加した自分達でも有る事を実感する事ですが、実践する事は大変な事です。今年度国際奉仕委員会では、セミナーや卓話を通じて事例や方法を紹介してまいりました。3月には国際奉仕委員会アンケートの集計結果を地区HPに掲載致しました。また、6月11日開催のアトランタ国際大会や千葉ナイトへのPRを開催致しました。

青少年奉仕委員会は近年、青少年の参加が少なくなって来ている現状を「ロータリーは青少年の模範」のテーマのもと、減少に歯止めをかけ、参加者を増加すべく活動してまいりました。

インターアクト小委員会は、今年度第50回目となる「インターアクト年次大会」を木更津東RC提唱の木更津総合高等学校が主体となり、8月3日に開催致しました。14のインターアクトクラブの参加者が人と人との繋がりの大切さについて学びました。

国外研修では、11月11日から台北市国際ロー

タリー第2520地区のインターアクトとの交流を深めました。地区内8校の高校生を中心に30名が参加致しました。頼東明氏、李登輝基金会日台顧問早川友久氏の「無私の日本人」の講演を聞き、日本との友好・親善を確認しました。

その後、台北市福安国民中学校との交流、台湾テレビ局を訪問致しました。インターアクターはもとより、ロータリアンにとっても、実のある行事となりました。

ロータリーアクト小委員会は、地区内5クラブ35名のロータリーアクトを中心にして地区大会にて青少年の集いを開催致しました。今後更なる拡大の為、当委員会の存在意義の確認、周知活動、会員になるメリット等を明確にして各クラブ訪問、地区HPへの掲載などの広報活動に取り組んでいます。

ロータリー青少年交換小委員会では、今年度長期学生の派遣・受入れがそれぞれ2名、短期学生が5名ずつ主にアメリカ・ドイツとの青少年交換を実施しています。次年度候補生にはオリエンテーションを既に7回開催し、心構え、危機管理について講習しています。4月のスプリングキャンプで広島・長崎を探訪し、来日生と派遣生との情報交換・友好を温めました。

R.Y.L.A.小委員会は、第40回のライラセミナーを2月25日から26日に開催し、古市佳央氏の講演と歩行ラリーのプログラムを実施致しました。青少年44名、ロータリアン14名参加のもと青少年がリーダーシップのスキルと人格を磨き、奉仕・平和・ロータリーの価値観を一体となって学んで頂きました。

今年度から新設された学友会委員会は、ロータリーファミリーの一員であるロータリー学友とクラブを結び付け、永い関係を築く為の支援を目的としています。4月23日に地区学友会同窓会を開催し、学生との繋がりを深め、将来ロータリークラブに入会して貰うよう働き掛けを致しました。

以上、8つの委員会の活動について報告致しましたが、委員長を中心に30名の委員による積極的な活動の結果、各クラブの活性化に繋がるお手伝いができたのではないかと思います。



ロータリー米山記念奨学委員会報告

ロータリー米山記念奨学会委員会

委員長 富 一美 (成田空港南RC)

2017年3月11日に、2016学年度の奨学生20名は、お陰様をもちまして、無事終了式(卒業式)を迎えました。

私は、卒業する奨学生の皆さんに、これから米山学友会として常日頃心がけて行くことが望ましいことを一つだけ申し上げました。

それは、『ロータリーで学んだ「超我の奉仕」、つまり倫理観を持った「利他の心」です。常に「Service Above Self」、ロータリーの精神を忘れず、何事においても、利他の心で判断し、しっかりと仕事をし、研究を行う、そして、人に頼らず、自らの能力を活かして収入を得て、独立した個人として家計を営む、その上で、そうした仕事やあるいは社会的な活動などを通じて、自分自身、自分の周り、更には、もう少し大きな周り、惹いては日本や世界を明るく希望の持てるより良い社会にすることに貢献していく人材として活躍して欲しいと』……………。

日本全国のロータリークラブの2016学年度の卒業生は50ヶ国・751人で、超我の奉仕「Service Above Self」、というロータリーの精神を持った学友を、累計で、なんと約20,000人近くを世の中に送り出し、世界中で活躍をしております。

これはまさに、ロータリーの目指す「平和と国際理解の推進」そのものでありまして、ロータリアンの、ロータリアンによる、ロータリアンのための国際奉仕事業です。

米山奨学事業にご支援をいただいている地区内多くのロータリアンの皆様に、深く感謝を申し上げます。

また、ご卒業される奨学生の皆さんを支えてこられたカウンセラーの皆様や世話クラブの皆様、これまで熱心に指導してこられた指導教員の皆様及びその勉学や生活を支援されてきた学生課職員の方々にも、心から感謝いたしますとともに喜び申し上げます。

さて、ロータリー年度は、7月1日からスタートをしますが、米山委員会は事実上は4月の奨学生・カウンセラー・指導教員オリエンテーションから新年度がスタートして、この時点から次年度の委員会チームにバトンタッチされます。

ここで、1月の選考試験に合格した新規奨学生候補にオリエンテーションの後、奨学生としての心得をしっかりと理解していただけてから

確約書にサインをいただき、晴れて米山記念奨学生となります。

言い換えますと、このオリエンテーションは、一般的には入学式に相当します。その後、新規・継続奨学生は7月までに1～2回の研修を経て、ロータリーでの新年度にバトンタッチとなります。今年度のこれまでの奨学生の義務出席を含めた活動を振り返ってみますと、

★日程別

- 2016.4.16 奨学生・カウンセラー・指導教員オリエンテーション
- 2016.4.29 地区研修協議会お手伝い
- 2016.6.4 奨学生研修会
- 2016.7.23 奨学生・カウンセラー・指導教員セミナー
- 2016.9.3 米山学友会主催バーベキュー大会
- 2016.9.25 地区大会・米山の集い・ミニ国際交流
- 2016.10.2～3 米山梅吉記念館探訪研修旅行
- 2016.12.11 学友会主催セミナー・忘年会
- 2017.1.14 新規奨学生面接選考試験お手伝い
- 2017.1.15 奨学生・カウンセラー懇談会・新年会
- 2017.2.18 ホームカミング(里帰り学友講演会)
- 2017.3.11 奨学生終了式・歓送会

★その他

- クラブ例会に月1回以上出席
- 各クラブでの奉仕活動やイベントに参加
- ロータリー地区の行事に参加
- クラブで卓話及び他クラブへの米山卓話訪問(スピーチ)

米山奨学会も始まってから64年、財団法人になってから49年、今年の7月1日で公益財団法人ロータリー米山記念奨学会は財団設立50周年を迎えます。

ある大学教授は、「本来の奨学金制度の目的は日本ファンをつくることです。日本ファンを海外に作るということはODA以上に意味があると考えています。」といわれました。継続することこそ意味があります。皆様の更なるご協力・ご支援をお願い申し上げます。私の方からのご報告とさせていただきます。



RLI 開催報告

RLI小委員会

委員長 海寶 勘一(千葉西RC)

我が地区にRLI (Rotary Leadership Institute) ロータリー・リーダーシップ研究会を取り入れて早7年目を迎えました。2010年10月にRLI世界本部に加盟してから今日まで、2790地区内67クラブから266名の方がRLIに参加し、クラブを超えてのコミュニケーションから、自己研鑽に繋がるロータリー精神を習得できたことが好評でした。2010年当時の地区RLI草創期は、まだ地区内で開催する環境が整ってなく、2750地区や2770地区のRLIに参加していました。地区を超えた学びの場に於いて、フェローシップは勿論ですが、ロータリー精神の真髓になっているリーダーシップを涵養し、様々な学びの気付きと共に喜びや感動を得ることができるプログラムです。

RLIはロータリアンの草の根運動の組織として、クラブリーダーの育成を主眼にして、パートIからⅢまでの基本カリキュラムが組まれています。パート毎に50分間6セッションを修了する3日間の研究会に参加することが基本です。

参加された方々が丸一日ロータリー談義を満喫する経験は貴重であり、多くの方が精神的肉体的な疲労感を超越した、ロータリー充足感を満喫することが出来ています。

カリキュラムテーマに沿ったセッション討議は、毎時間入れ違う仲間との新鮮な情報交流の場になっています。クラブを超えた仲間の触れ合いからは信頼を認識しあい、ロータリアンとしてのプライドや高潔な精神を自己研鑽することができます。人と学び合う尊さを謙虚に身に着け、真のロータリアンとして成長することがRLIです。自分自身が品位あるリーダーとして自覚できる学びの場とは、全てが公平に語り合い平等である環境から醸成されます。メダカの学校同様に先生も生徒の区別もなく、ファシリテーターの推進によって有意義な語り合いの場ができるのです。パート毎にテーマをもって構成され、パートIが「ロータリアンとしての私」、パートIIが「私たちのクラブ」、パートIIIが「ロータリーの旅」と題してスパイラル(螺旋)的に

ロータリーを語り学び合う内容ですが、このセッション討議の推進者がファシリテーターです。各セッションには数名のファシリテーターが担当しますが、昨年同様に地区RLI実行委員会を編成し、ディスカッション推進者の重き役割を果たして頂いております。任意参加の卒後コースやファシリテーター養成講座を修了しますと、はれてファシリテーターの役目を修得できます。第2790地区のファシリテーターは7年間で80名近くなりましたが、今後の課題は資質向上に向けて定期的に学び合う必要があります。今年度のRLI参加状況ですが、約25RC50名の方が積極的に参加され修了書を手にしています。丸一日間ロータリー談義で過ごす楽しさに覚醒された方々が、パートIからパートⅢに継続され、卒業記念ピンを手にされた時の参加者の破顔が素敵でした。千葉市民会館の会議室6部屋に分かれてディスカッションが行われるのですが、今回のパートIには地区外から8RC10名、地区内25RCから43名の方が参加、パートIIには荒天の中、地区外から4RC5名、地区内22RC34名の登録を頂きました。開催ごとにアンケートを実施していますが、アドバイスや改善点が指摘され大いに参考になっています。主催した地区研修委員会・RLI小委員会・RLI実行委員会の皆さんが、献身的に活躍をされたお蔭であることを実感しています。ファシリテーターの皆さんは6セッションに分かれて事前の勉強会を開催し、少しでも参加される方々の為になるよう熱心に研鑽を積んでくれました。今後の活動を考える時に、各セッションで推進者として大きな責務をもつ、ファシリテーターの自己研鑽が大切なポイントになりますので、今後は継続的に勉強会を開催し、切磋琢磨することが重要課題です。RLIに参加された方が地道な学びを広め、草の根的にクラブの活性化や強化に結びつけて頂く為にも、ロータリー談義を盛り上げる価値あるクラブリーダーの活躍を、強く願っています。



交流と学びを深めたスプリングキャンプ

ロータリー青少年交換小委員会
委員長 諸佐 博(小見川RC)

4月1日から2泊3日で広島・神戸スプリングキャンプを実施しました。この時期は生徒の派遣先が決まり、ほっとすると同時になかなか進歩しない語学力に悩み期待と不安が入り交じった時期です。そんな折、日本の歴史を学ぶとともに生徒同士の親睦を深める有意義な事業になりました。多くのロータリアンが青少年交換事業に関わり、目に見えて成長する学生を見る喜びを感じていただければ幸いです。

来日生(アメリカ)

Jana Ogle(松戸中央RC)

広島と神戸の旅行は凄く楽しかったと思います。

最初の日、広島原爆ドームで私は平和の重要性を見ました。中で被爆者の物と写真が陳列されています。悲しくなりました。世界に戦争がないことを望みます。

そんな場所に行けましたのが良かったと思います。皆さんは他の所の歴史を学べたら、世界がもっと思いやりになれます。

旅行の後半に宮島と神戸に行きました。楽しかったです。有名なもみじまんじゅうと神戸牛を食べました。

この旅行でステキな友達と思い出を作りました。いい経験でした。



震災の傷跡が残るメリケンパークにて

DESTINY・リー(浦安RC)

4月1日から3日までの3日間、広島と神戸に連れて行って頂きました。そこで楽しいことも、悲しいことも、色んなものを見て、色んなことを感じて、とてもいい経験になりました。友だちと一緒に遊んだり、美味しいものを食べたりして、一緒に長い時間を過ごしてとても楽しかったです。それから、厳島神社の鳥居の美しい風景や北野天

満神社からの眺めに感動したり、原爆ドームと平和記念資料館に行って、核の悲惨さと原爆の恐ろしさ、それから阪神・淡路大震災のこと、本当に色んなことを学んだり感じたりすることができました。このスプリングキャンプを企画して行かせて下さって、本当にありがとうございました。

長期派遣候補生

市原 航(習志野中央RC)

始めに今回のスプリングキャンプではとてもいい様々な刺激を受けました。まず国際留学の話をしてた時に、私はまだ行く国が決まってないこともあり不安がいっぱいでしたが、小菅さんや、前に行ったことのある方達の話聞きどのような覚悟で行き、どう接すればいいかなど色々な話を聞くことができました。また今回は泊まりがけということもあり同じ時期に留学する友達とも仲良くなることができました。しかしやっぱり一番嬉しかったのはその土地の事について知れたりその地方の名物などを食べられた事でした。今回のスプリングキャンプはとても私にとって有意義で価値あるキャンプになったと思います。ありがとうございました！



一足お先にお花見!原爆ドームにて

磯野 萌依(勝浦RC)

このスプリングキャンプで様々な場所を訪れ、普段見られないものをたくさん見ることができました。

原爆ドームや平和記念公園では戦争の恐ろしさや当時の被害など自分が知らないことを知ることが出来たと思います。宮島では厳島神社や宮島水族館を訪れました。メリケンパークで地震の被害映像を見たり南京町で様々な中華料理を堪能しました。この3日間で仲間との交流を深めることができ、とても良い経験をさせて頂きました。

河野 優香 (浦安RC)

3日間のスプリングキャンプで、たくさんの場所を訪れ、色々な事を学びました。その中でも私が強く印象に残っているのが、原爆ドームと平和記念公園資料館です。初めて原爆ドームを生で見て、そこだけ時間が止まっているような感覚がし、とても恐ろしかったです。平和記念公園資料館では、原爆で、怪我や病気、火傷を負った人々の写真、黒く焼け焦げた遺品などが展示されていました。そこには、原爆によって亡くなった人の、痛みや悲しみが強く残っていて、とても辛くなりました。平和の大切さや、戦争や原爆の怖さを改めて知れました。貴重な体験をさせて頂きありがとうございました。

関 優季 (勝浦RC)

3日間のスプリングキャンプを終えて今、沢山の充実感と幸せを感じます。そして、一瞬で過ぎ去ってしまった3日間でした。

1日目、羽田空港に集まり期待が増していく中飛行機に乗り広島に向かいました。皆で食べたお好み焼き、本当に美味しかったです。

2日目、原爆ドームや平和公園、平和記念公園資料館に行き、当時起こった現実を目にし言葉を失いました。通りかかったお婆ちゃんが、実際はもっと酷い。という言葉聞き、更に心が苦しくなりました。ですが、今こうして平和を取り戻していき、皆が当時のことを大切にし平和を願うことが大切なんだと思いました。その後世界遺産の宮島へ行き水族館に行ったり食べ歩きをしたり…野生の鹿とも触れ合えました。そして新幹線に乗り神戸に向かい、いよいよ最終日。3日目、南京町の中華街で神戸牛や小籠包を頂きました。北野異人館で最後の観光をしました。3日間を通して更に皆の仲が深まったと感じました。

皆さんに感謝の気持ちでいっぱいです。

田村 一真 (八千代RC)

今回のスプリングキャンプで僕は人生初となる広島と神戸に行った。広島では原爆ドームなどの歴史的な建造物を見た。また、厳島神社にも行き、満潮だったということもあり、鳥居が海に浮いているように見えた。神戸では、海岸線に行き、阪神淡路大震災の悲惨な現場を見た。原爆投下の時も大震災の時も、僕はまだ生まれていなかったもので、このような事は僕達が教わったように次世代の人たちに残していくべきだと思った。

今回習ったたくさんのことを留学に活かしていきたいと思います。

短期派遣候補生

金坂 奈桜 (茂原RC)

広島、兵庫には行ったことがなかったので、行く前からすごく楽しみにしていました。

1日目はお好み焼きを食べたことがすごく印象に残っています。本場のお好み焼きを食べたことはなかったので、すごくおいしかったです。自由行動の時にでかいジェラートを食べてしまったので、お腹がパンパンになりました。2日目はたくさん歩いたなと思いました。原爆ドーム、平和記

念公園に行ったのが初めてで、戦争について考えさせられました。宮島はとてもきれいなところで、野生の鹿がいて驚きました。着いた頃はあいにくの雨で水族館に行き、たくさんの動物を見て癒されました。ナマコを触ったのですが、面白い触感でした。1日目も2日目もホテルがすごくきれいで、朝食バイキングがとてもおいしかったです。最終日はバスツアーだったので修学旅行してる気分でした。すごく晴れていたもので、メリケンパークはすごくきれいでした。ここでは地震の大変さを学びました。中華街では神戸牛、北京ダック、角煮バーガーを食べてどれもおいしかったです。

この3日間で交換留学生のみんなとより仲良くなれた気がします。すごくいい体験をすることができて良かったです。ありがとうございました。



みんなでJUMP

斎藤 由美恵 (千葉幕張RC)

最初に訪れた広島では、原爆ドームと平和記念公園資料館を訪れた。平和記念公園では普段学校の教科書で見ている原爆ドームが目の前にあり少し緊張した。

また、平和記念公園には平和を感じる折り鶴を持った少女の像、平和を象徴するハトもいた。その後の宮島で見た赤い大きな鳥居の厳島神社は圧巻だった。

3日目の神戸ではまず、神戸タワーや阪神淡路大震災の跡を見た。大きな亀裂をみて規模の大きさを感じた。その後の南京町では北京ダック、小籠包、神戸牛ステーキなどを食べた。とても美味しかった。

最後に北野異人館に行った。町並みが洋風で日本とは少し違った雰囲気を感じる事ができた。

この3日間とても楽しい時間を過ごすことができた。また改めて日本の歴史、文化を学ぶことができた。

渡邊 早希 (勝浦RC)

2日目に訪れた原爆ドーム、平和記念館では第二次世界大戦当時の写真や実際の遺品などを見てとても胸が痛くなりましたが、同時に自分が今どれだけ幸せな立場にいるか、平和な国に暮らしているかを実感することができました。その後に訪れた宮島では厳島神社という美しい世界遺産を見て感動しました。今回はみんなと仲が深まった3日間だったと感じています。また企画して下さったロータリークラブの方々に感謝したいと思います。



学友会委員会活動報告

～ロータリーファミリー同窓会～

学友会委員会

委員長 酒井 秀光 (茂原 RC)



学友委員会は青木ガバナー年度で新設された委員会です。目的はロータリーファミリーの一員であるロータリー学友とクラブを結びつけ、末永い関係を築くための支援をするのが地区学友委員会の役割です。また、地区内の学友会の監督にもあたります。「ロータリー学友」とは以下のプログラム終了者です。● インターアクト●ローターアクト●ロータリー青少年交換●新世代交換●ロータリー青少年指導者養成プログラム (RYLA)●ロータリー平和フェローシップ●ロータリーの奨学金 (グローバル補助金、地区補助金)●米山奨学生

私たち地区学友委員会は学友がロータリーと末永い関係を保てるよう、学友との協力方法を会員に知らせたり、ロータリーのウェブサイト My ROTARY でアカウント登録するよう学友に促します。また、ロータリーのプライバシー方針と青少年保護方針、各国の法律が順守されるよう確認したり、学友行事と学友会を支援し、調整を図っています。地区の会員増強委員会、ロータリー財団委員会、青少年奉仕委員会などと協力して、地元の学友を見つけ、学友の特別なスキル (パブリックスピーキングなど)、職業・専門分野、クラブへの入会や財団への寄付の可能性を把握するよう努めていますが、まだ委員会発足の日が浅いため思うように活動できていないのが現状です。

学友行事として「ロータリーファミリー同窓会」を4月23日に東天紅で開催しました。ロータリー学友と所属委員会の委員長と委員に参加していただきまして、各委員会のロータリープログラム終了生 (学友) のその後、及び活動報告等の情報交換をおもに行いました。参加者より「より良い理解が得られました」と評価をいただきました。この行事「ロータリーファミリー同窓会」を継続することにより横の関係が出来れば地区学友委員会の目的が達成できると思います。

さらに私たち委員会は、現在のプログラム参加者と強力な関係を築き、学友とのつながりを深め、将来クラブに入会してもらうことを視野に入れた活動をしたいと思っています。そのために、学友の存在を会員にアピールし、学友がロータリーに入会しやすい新クラブ (web クラブ) を推進したいと思っています。設立は困難であると思われませんが、委員会の立場ととしては設立に向けて準備を進めるつもりです。各会員のご協力をお願いいたします。



米山学友ラジブさん



ロータリアンと学友の懇談

米山梅吉記念館便り

シリーズ⑨ 米山梅吉の横顔

米山梅吉の青山学院への奉仕は大正5年頃には既に見られますが、何と言っても青山学院初等科の創立で、米山の、整備拡充よりも初等教育の充実を重視する教育論の実践でした。昭和12年に竣工した校舎は全額私財を投じて建設されたもので一切の寄付は仰ぎませんでした。学院が直営の予定でしたが許可が難航し、青山学院小学財団を設立、同財団立「緑岡小学校」として発足しました。男女25名づつが入学し、初代校長は米山でした。経営方針は7条あって、「学校後援会、保護者会等の支援団体は認めない」「児童の教育は学校の手によって行う。学校を信じて委ねたい」「人にされて嬉しかったことを人にせよ」等でした。



青山学院緑岡初等学校正門と校舎

記念館の月桂樹前にポール・ハリス植樹レリーフを設置
昭和10年来日の折、ポール・ハリスが月桂樹を帝国ホテル前庭にお手植えし、記念館にはその2世が植えられています。

公益財団法人 **米山梅吉記念館**
〒411-0941 静岡県駿東郡長泉町上土狩346-1
TEL:055-986-2946 FAX:055-989-5101
URL: <http://yoneyama-umekichi.jp>
Email:yumh@ai.tnc.ne.jp
【開館時間】午前10時～午後4時
【休館日】月曜日/12月28日～1月4日/整理のための休館日(5月・8月の特定日)



米山梅吉関連図書を紹介



B5判 記念館35周年記念誌
本文268ページ/2,500円

米山梅吉の聲音 記念館刊
米山梅吉の「生い立ちと人となり」「ロータリーとのかかわり」「記念館の歴史」などが詳細に解説されています。
資料編としては、米山梅吉の会議や大会での挨拶や講演、ロータリー月報やラジオ放送の内容なども掲載。記念館所蔵の図書目録、年表など網羅されています。

コーディネーターニュース 2017年5月号 (2017年4月12日記)

■ 会員基盤向上に資する

「ロータリー公共イメージ向上」について

さる3月27,28の両日東京で開催されたRI第123ゾーン会員基盤向上セミナーでは標記演題について各地の公共イメージコーディネーター関係者数名がそれぞれの切り口から持論を大変熱く語られ、とても印象的で貴重な時間を過ごすことが出来た。RIはロータリー発展のため戦略計画を大々的に取り入れるよう推奨し、その東ねた3本の矢の内の一つである公共イメージ向上も特別に力を入れている。戦略計画の最終ゴールは何よりもクラブの発展、そして会員増強であり、その為のイメージ向上は必須であり、それを活かさねばならないと説いている。

112年前シカゴの街で4人の青年実業家が集まりロータリークラブを創立し、それが現在会員数120万人を超える世界的巨大組織に成長した。その要因はロータリーが常に内外への広報宣伝活動を効果的に継続して来たこと、そしてどの時代でもロータリー会員自ら日頃の理念に沿った職業奉仕を行い、世界中の各クラブが長年実施して来た質の高い奉仕活動を地域が世界が認知して来たからではないか。

ここで先日のセミナーでの発表を参考にしながら今後の広報展開を如何になすべきかを考えてみたい。

● 地区レベルで、

地区はクラブにロータリーのイメージ向上に繋がる情報を提供すべきである。例えばクラブ奉仕活動への取材活動を地区が代わってマスコミに申し入れる、クラブセントラルから情報収集を奨励する、地区へのBox投稿依頼を強く勧めている。特にIT、中でも各種SNSを駆使した映像による積極的発表、投稿は若い世代に強くアピールするだろう。一例として、第2670地区前田直俊ガバナー監修によるアニメ「おしえてロータリー」は日本語、英語版があり、FB、YouTube、DVD等を通して誰でも鑑賞可能。これらは広く地域社会でロータリーの啓発活動や、ロータリークラブ新入会員の研修にも役立つすぐれた教材である。



第1図

● クラブレベルで、

会員が汗を流し、地域のために良い事をした事実をマスコミが取材し、のちにマスメディアに載ることとはとても立派な業績であり、ロータリーを社会に理解して貰える千載一遇の良い機会です。ここに第2690地区玉島RCと米子4RCの奉仕活動が新聞記事になった例を紹介する。なお、この記事は現在RIのBoxに収めてあります。各クラブでとても簡単に操作できるBoxを利用して、活用して下さい。



第2図



第3図

● ロータリアン個人レベルで、

忘れてならないのは、会員各自が果たして来た長年の「くちコミ作戦と真摯な奉仕活動」こそロータリー発展の最大貢献者であり、今後戦略計画実施への大きなヒントになると確信する。色々な意味で直接対面での意思疎通は何事にも変えがたいお金のかけない広報宣伝戦略であろう。

(第3ゾーン ARPIC 伊藤文利倉吉RC)

(公財) ロータリー米山記念奨学会ニュース (ハイライトよねやま205号)

今月のトピックス

- ・寄付金速報 — 2016-17年度も残り3カ月 —
- ・さまざまな寄付のカタチ — 学友からの遺言寄付 —
- ・2017学年度新奨学生オリエンテーションがスタート
- ・タイ米山学友会が創立5周年の総会を開催
- ・地区研修・協議会用に米山の資料をお送りします

《今月のピックアップ記事》

2017 学年度新奨学生オリエンテーションがスタート

2017 学年度の奨学生は795 人となりました。新規採用者が615 人、継続者が180 人です(4月10日現在)。国・地域別にみると、中国が39.5%、次いでベトナム13.8%、韓国11.9%、台湾5.0%の順となっています。ベトナムは2009 学年度以降、台湾を抜いて3 番目に奨学生数の多い国として著しく増加していましたが、今年度は、韓国を抜いて2 番目に多い割合を占めています。

プログラム別では、学部・修士・博士課程ロータリー米山記念奨学金が747 人(学部課程：292 人、修士課程：265 人、博士課程：190 人)、地区奨励奨学金15 人、クラブ支援奨学金2 人、海外学友会推薦奨学金6 人、海外応募者対象奨学金25 人となっています。

4月～5月にかけて各地区でオリエンテーションが開催されます。オリエンテーションは初めて学生とカウンセラーが出会う場であり、奨学生としての義務やロータリーについて理解してもらおう場です。確約書に署名をした後、正式に米山奨学生となります。

どうぞ温かくお迎えくださいますようお願いいたします。

そのほかの記事は、ぜひPDF版をご覧ください。

→ http://www.rotary-yoneyama.or.jp/summary/pdf/highlight205_pdf.pdf

文庫通信 (355号)

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約2万4千点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。

以下資料のご紹介を致します。

講演他

- ◎「日本の出番、祖国は甦る」 青山繁晴 2016 1p (D.2680 地区大会記録誌)
- ◎「世界の中の日本」 五百旗頭 真 2016 9p (第44回ロータリー研究会報告書)
- ◎「日本のこころ」 松長有慶 2015 7p (D.2660 地区大会記録書)
- ◎「職業奉仕の今日的課題と永続企業」
パネラー：前川洋一郎・山本泰人・中川雅雄 2016 6p (D.2580 地区大会記念誌)
- ◎「21世紀をどう生きるか」 安平和彦 [2016] 15p (D.2670・D.2680 第38回R.Y.L.A.報告書)
- ◎「現代家族の課題」 白石大介 [2016] 12p (D.2670・D.2680 第38回R.Y.L.A.報告書)
- ◎「ダウン症の娘と共に生きて」 金澤泰子 2017 6p (D.2690 地区大会記念誌)
- ◎「夢に向かって」 根木慎志 2016 7p (D.2750 第36回インターアクト年次大会報告書)
- ◎「若者の未来のためにできること」 養老孟司 2015 11p (D.2660 地区大会記録書)
- ◎「父が見つつけてくれたもの」 小林 真 2011 6p (奉仕のとしびを高く掲げて)

[上記申込先：ロータリー文庫]

—— ロータリー文庫 ——

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3階 TEL (03) 3433-6456 FAX (03) 3459-7506
<http://www.rotary-bunko.gr.jp> 開館：午前10時～午後5時 休館：土・日・祝祭日

寄付者紹介 (敬称略)

ロータリー財団寄付 メジャードナー



野間口 勉
(成田コスモポリタン RC)



青木 貞雄
(成田コスモポリタン RC)

年次寄付 (マルチプル・ポール・ハリス・フェロー)



實川 喜夫
(松戸中央 RC)
3回目



小寺 真澄
(成田 RC)
2回目



杉山 幸雄
(白井 RC)
2回目



青木 修
(流山 RC)
2回目



保川 和弘
(茂原 RC)
1回目



金坂 一郎
(茂原 RC)
1回目



岡村 廣志
(松戸中央 RC)
1回目



中村 文典
(松戸西 RC)
1回目

使途指定寄付 (ポリオ・プラス)



榎 隆夫
(柏西 RC)

米 山 功 労 者



角田 幸弘
(成田 RC)
5回目



堀口 路加
(成田 RC)
4回目



長原 正夫
(成田 RC)
3回目



田邊 厚志
(松戸中央 RC)
2回目



武本 浩基
(船橋西 RC)
2回目



仙田 和雅
(柏 RC)
1回目



川野 大介
(船橋西 RC)
1回目



小林 直人
(白井 RC)
1回目

新ロータリアン (敬称略)



堀田 了誓
(鋸南 RC)
訪問介護事業
2016年7月1日入会



渡辺 淳一
(鴨川 RC)
教員
2016年9月20日入会



桑田 光人
(茂原 RC)
保険代理業
2016年11月17日入会



松崎 浩
(松戸中央 RC)
商業銀行
2016年12月15日入会



平川 恵敏
(富津中央 RC)
歯科医
2017年1月5日入会



石原 紀一
(成田コスモポリタン RC)
駐車場業
2017年1月11日入会



伊藤 正彰
(佐倉中央 RC)
旅行業
2017年1月18日入会



遠藤 直人
(四街道 RC)
IT関連
2017年2月7日入会



秋葉 英昭
(成田空港南 RC)
人材派遣サービス
2017年3月2日入会



北村 謙介
(市原中央 RC)
弁護士
2017年3月7日入会



細田 啓介
(柏西 RC)
旅行業
2017年3月24日入会



廣川 利雄
(柏西 RC)
証券業
2017年3月24日入会



鎌塚 紀充
(千葉 RC)
ビルディング管理
2017年3月27日入会



金丸 勝
(茂原 RC)
自動車部品卸売
2017年3月30日入会



大塚 和良
(大網 RC)
保険代理業
2017年4月5日入会



寺内 忠正
(銚子 RC)
冷凍食品製造
2017年4月5日入会



塚越 立太
(柏東 RC)
保険代理店
2017年4月6日入会



茂木 一男
(新千葉 RC)
警備保障
2017年4月12日入会



森脇 正孝
(新千葉 RC)
建築設計
2017年4月12日入会



鈴木 啓文
(柏 RC)
人材派遣業
2017年4月12日入会



柿澤 明子
(習志野 RC)
証券業
2017年4月12日入会

国際ロータリー第2790地区(千葉)出席・会員数報告(2017年3月分)

分区	クラブ名	出席率(%)	例会数	会員数				
				2016 7/1	女性	当月	女性	増減
第1分区	市川	85.42	3	37	0	39	0	2
	市川東	100.00	3	41	0	43	2	2
	市川南	78.00	4	17	2	20	2	3
	浦安	82.20	4	35	2	44	2	9
	市川シビック	89.06	3	35	0	35	0	0
	浦安ベイ	86.32	3	13	0	13	0	0
	平均	86.83	3.33	29.67	0.67	32.33	1.00	16
第2分区	船橋	90.34	3	27	0	27	0	0
	船橋西	85.79	5	40	6	42	7	2
	鎌ヶ谷	80.71	5	32	2	32	2	0
	船橋東	85.70	5	31	2	33	3	2
	船橋南	70.45	4	16	4	16	4	0
	船橋みなと	84.60	4	21	5	21	5	0
	平均	82.93	4.33	27.83	3.17	28.50	3.50	4
第3分区A	千葉葉	90.25	3	80	3	78	3	△2
	新千葉	81.49	4	50	0	47	0	△3
	千葉西	84.17	4	53	3	51	3	△2
	千葉中央	74.25	4	32	0	34	0	2
	千葉幕張	71.00	4	37	2	37	2	0
	千葉東	71.29	2	33	4	34	6	1
	千葉若潮	62.04	4	31	1	31	1	0
平均	76.36	3.57	45.14	1.86	44.57	2.14	△4	
第3分区B	千葉南	66.01	4	52	7	48	7	△4
	市原	57.10	5	38	2	40	2	2
	千葉港	76.19	4	23	2	24	3	1
	市原中央	70.75	4	50	2	51	2	1
	千葉北	67.86	4	27	3	28	3	1
	千葉緑	63.34	3	27	2	28	1	1
	平均	66.88	4.00	36.17	3.00	36.50	3.00	2
第4分区	木更津	78.63	4	27	3	27	2	0
	上総	60.00	4	17	0	15	0	△2
	富津中央	68.38	5	28	1	31	1	3
	木更津東	76.82	4	40	0	45	1	5
	君津	97.43	3	50	2	55	4	5
	袖ヶ浦	85.33	3	24	3	27	4	3
	富津シティ	81.30	5	15	1	16	0	1
平均	78.27	4.00	25.13	1.25	27.00	1.50	15	
第5分区	館山	81.78	4	53	3	50	3	△3
	鴨川	82.14	4	31	5	32	5	1
	勝浦	93.41	4	37	4	38	4	1
	千倉	77.50	4	10	2	10	2	0
	鋸南	85.71	3	13	1	14	1	1
	館山ベイ	65.22	4	20	0	24	0	4
	平均	80.96	3.83	27.33	2.50	28.00	2.50	4
第6分区	茂原	87.34	5	65	3	65	0	0
	東金	70.86	3	20	1	16	1	△4
	大原	97.25	4	10	1	9	1	△1
	大多喜	87.49	4	5	1	6	1	1
	成田空港南	80.24	4	36	0	36	0	0
	茂原東	80.00	4	22	2	21	1	△1
	茂原中央	78.75	4	17	2	20	2	3
大網	80.00	4	30	1	30	1	0	
東金ビュー	65.10	3	20	1	20	1	0	
平均	80.78	3.89	25.00	1.33	24.78	0.89	△2	

分区	クラブ名	出席率(%)	例会数	会員数				
				2016 7/1	女性	当月	女性	増減
第7分区	銚子	82.95	5	39	4	40	4	1
	旭	67.10	4	44	3	44	3	0
	八日市場	76.83	3	39	2	40	3	1
	銚子東	83.50	4	36	2	34	2	△2
	平均	77.60	4.00	39.50	2.75	39.50	3.00	0
第8分区	佐原	78.33	5	47	0	50	0	3
	多古	77.78	3	15	0	15	0	0
	小見川	80.44	4	23	0	23	0	0
	佐原香取	78.78	3	24	1	25	1	1
平均	78.83	3.75	27.25	0.25	28.25	0.25	4	
第9分区	成田	64.06	5	59	0	71	4	12
	八街	88.45	4	27	2	33	3	6
	印西	80.00	5	23	1	24	1	1
	白井	56.86	3	17	0	16	0	△1
	富里	67.82	4	28	0	29	0	1
成田コスモポリタン	69.52	5	67	0	69	0	2	
平均	71.12	4.33	36.83	0.50	40.33	1.33	21	
第10分区	柏	82.10	5	56	9	57	9	1
	我孫子	71.60	4	22	1	27	3	5
	柏西	79.62	4	61	4	63	3	2
	柏東	79.14	4	32	4	35	6	3
	柏南	66.50	4	30	5	32	6	2
平均	75.79	4.20	40.20	4.60	42.80	5.40	13	
第11分区	習志野	81.63	4	26	1	26	1	0
	八千代	88.63	4	49	0	50	0	1
	佐倉	74.66	5	24	3	29	3	5
	八千代中央	76.70	3	29	2	28	2	△1
	四街道	72.32	4	25	2	28	3	3
	習志野中央	71.12	4	45	5	50	5	5
佐倉中央	61.90	4	21	4	21	4	0	
平均	75.28	4.00	31.29	2.43	33.14	2.57	13	
第12分区	松戸	89.42	5	56	0	57	0	1
	松戸東	89.82	5	46	0	45	0	△1
	松戸北	80.56	4	38	0	38	0	0
	松戸中央	74.79	5	43	6	44	6	1
	松戸西	81.90	4	29	0	29	0	0
平均	83.30	4.60	42.40	1.20	42.60	1.20	1	
第13分区	野田	76.74	3	58	8	60	8	2
	流山	67.85	4	14	4	14	4	0
	野田東	71.81	5	23	0	22	0	△1
	流山中央	88.14	4	23	2	23	2	0
	野田セントラル	80.21	4	23	0	25	1	2
平均	76.95	4.00	28.20	2.80	28.80	3.00	3	

クラブ数83RC		
2016年7月1日	地区会員数	2,729人
2017年3月末日	地区会員数	2,819人
2016年7月1日	地区女性会員数	166人
2017年3月末日	地区女性会員数	182人
当月平均出席率		78.50%
増減		+90
女性会員増減		+16

物故会員 (敬称略)



オネツボ ナリアキ
大坪 成彬(第6分区 東金RC)
逝去日: 2017年4月15日(享年82歳)
入会日: 1970年7月6日



カクタ マサキ
角田 将規(第7分区 八日市場RC)
逝去日: 2017年4月3日(享年54歳)
入会日: 2009年10月6日

5月のロータリーレート

110円

KIRA CLUB in DISTRICT 2790

茂原RC

2017年、茂原RCは4名の短期青少年交換生を派遣した。

高校生が一人で1年間の外国暮らしをするのは、ハードルの高さもあることから、全員短期での交換とした。

言葉やマナー習慣の違いから、何のつながりもない環境で一から自力で友達をつくるのは苦労も多い。そこで、相手国のほぼ同年齢の学生とペアを組み、互いの国でその家族と共に1カ月ずつ、2カ月間を過ごす。互いに同年代ということもあり、話もでき相談もできるのは、とても安心なこと。また、相手の友達との縁も広がっていかねばという。

今回、前年度に経験した先輩が後輩たちに、自身の体験したことを話してくれたことで、多くの希望者が得られた結果4名もの生徒を送り、また迎えられた。

「クラブ担当者は受け入れ出迎え、帰国出見送り、そして帰国出迎えと、大変な思いはあるが、帰国した生徒達の成長した姿に嬉しさを感じる。長期になれば、より多くの経験を通して一層の成長があるのだろう。次代を担う若者が見識を広め成長する一助になったと思う。」と、吉野昭一会員は語る。



『ロータリーの友』で日常を見つめなおしてみよう

ロータリーの友委員会 地区代表委員 金井 浄
(成田コスモポリタンRC)

例えばアンコール・ワットという偉大な歴史的建築を生み出したカンボジア。今は後進国が背負う様々な苦しみの中にいます。

歴史の断絶、倫理観の欠如、教育の貧困、政治の混迷などが重なって今日の状況を招いたのです。我々が空気のように享受している状況の大切さを、外に出て活動したロータリアンのレポートにより知らされます。

我々が住む健全な日本を守っていく責務を『ロータリーの友』によって改めて見つめ直してみようではありませんか。

周年記念

おめでとうございます

5月20日(土)

市原中央RC 創立30周年

5月27日(土)

八千代RC 創立50周年

今月の表紙



千代田鯉のぼり祭り

【開催日】2017年5月4日(木・祝) ※雨天時、5日(金・祝) 【場所】四街道市千代田3丁目調整池

四街道市千代田在住の有志による端午の節句を祝う恒例のお祭り。千代田調整池の空を約140匹の鯉のぼりが色鮮やかに泳ぎます。4日にはイベントを開催。大人気のミニ電車乗車体験を始め、郷土芸能演舞や和太鼓演奏、模擬店も出店し、会場は賑わいに包まれます。住民有志による手作りのお祭りで、心あたたまる時間を過ごしてみてもいい。鯉のぼりは7日まで飾られる予定です。

お訂正

ガバナー月信4月号6ページに掲載されたIM開催報告 第7分区ガバナー補佐 鈴木勝彦様の文中にデータ記載の誤りがありますので訂正させていただきます。

誤：「今年度のIMは2月16日(日)」 正：「今年度のIMは2月19日(日)」